

# 平成30年度当初予算（案）

## 付 属 資 料

県 土 整 備 局

（問合せ先）

事業管理部 県土整備経理課長 柏木  
電話 045-210-6070



# 目 次

ページ

〔資料	1	地震防災対策の推進	1
〔資料	2	ゲリラ豪雨などによる自然災害に対する未然防止対策の推進	2
〔資料	3	河川改修事業 一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕	3
〔資料	4	河川改修事業 二級河川 引地川〔下土棚遊水地〕	5
〔資料	5	都市河川重点整備計画(新セイフティリバー)の推進	7
〔資料	6	砂防事業 新崎川	9
〔資料	7	急傾斜地崩壊対策事業 栗田2丁目F地区	11
〔資料	8	緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進	13
〔資料	9	道路災害防除事業 国道134号	14
〔資料	10	橋りょう補修事業 県道78号(御殿場大井)〔足柄大橋〕	16
〔資料	11	都市公園整備事業 境川遊水地公園(今田遊水地)	18
〔資料	12	山・川・海の連続性をとらえた「川づくり・なぎさづくり」	20
〔資料	13	「かながわのみちづくり計画」に基づく幹線道路網 の重点整備	21
〔資料	14	道路改良事業 県道26号(横須賀三崎)〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕	23
〔資料	15	道路改良事業 県道731号(矢倉沢仙石原) 〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕	25
〔資料	16	街路整備事業 都市計画道路 横浜藤沢線	27
〔資料	17	交通安全施設等整備事業 国道134号 〔道の駅「(仮称)サザン茅ヶ崎」〕	29
〔資料	18	流域下水道事業 相模川流域下水道	31
〔資料	19	流域下水道事業 酒匂川流域下水道	33
〔資料	20	市街地再開発事業 小杉町3丁目東地区	35
〔資料	21	公営住宅整備事業 県営万騎ヶ原団地(3期)	37
〔資料	22	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競 技開催に向けた取組み	39
〔資料	23	法人二税の超過課税を活用して推進する施策	40
〔資料	24	平成30年度 主な完成・開所予定・着手箇所	41

## 地震防災対策の推進

## 1 目的

東日本大震災などを踏まえ、県民のいのちを守り、安全・安心の確保を図るため、地震や津波への対策を進める。

## 2 予算額：42,324,978千円

## 3 事業内容

項 目	主 な 事 業 内 容
<b>計画的な土地利用と市街地整備の推進：</b> 3,656,260千円	
市街地の整備	○建築物が密集し、防災性の低い地域を市街地再開発事業等により整備
<b>防災空間の確保：</b> 4,384,881千円	
都市公園の整備	○災害時に防災拠点となる都市公園の避難路・広場の整備
街路の整備	○災害時における火災の延焼遮断帯や避難路となる都市計画道路の整備
<b>道路橋りょう、港湾等の安全対策：</b> 24,225,075千円	
道路の整備	○大規模地震などの発災時における各種応急対策活動を迅速かつ円滑に行うための緊急輸送道路の整備
橋りょうの整備	○橋りょうの新設、架替、既存橋りょうの耐震補強工事
港湾の整備	○緊急物資や避難者の輸送の拠点となる港湾の防災機能の充実のため、物揚場などの整備
<b>津波高潮対策：</b> 936,528千円	
河川海岸の整備	○相模湾沿岸の海岸の養浜等
地籍調査の促進	○津波による浸水が想定される相模湾沿岸市町の都市部での地籍調査の促進
<b>がけ崩れ対策等の推進：</b> 7,147,810千円	
がけ崩れ等の土砂災害の防止	○急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、砂防指定地での災害防止工事、土砂災害特別警戒区域指定に向けた調査
<b>ライフラインの安全対策：</b> 935,643千円	
電線類の地中化	○電線類を地中化することにより、安全性の一層の向上を図るため、電線共同溝の整備
流域下水道の耐震化	○下水処理場の水処理施設等の耐震補強
<b>建築物等の安全確保対策：</b> 275,227千円	
大規模建築物の耐震化	○耐震改修促進法で耐震診断が義務付けられた大規模建築物の耐震改修に対する補助
沿道建築物の耐震化	○緊急輸送道路で県や市町村が耐震診断を義務付ける路線等の沿道建築物の耐震診断、耐震改修に対する補助
宅地の耐震化	○大地震発生時に滑動崩落のおそれのある大規模盛土造成地の安全性の向上を促進するため、調査を推進
<b>災害時の情報収集・提供体制の拡充：</b> 527,000千円	
水防情報基盤の整備	○水位観測施設等の整備・更新
<b>その他</b> 236,554千円	
被災地・被災者の支援	○東日本大震災の被災者に対して、災害救助法に基づく応急仮設住宅を引き続き提供

問合せ先

県土整備経理課 課長 柏木 電話 045-210-6070

## ゲリラ豪雨などによる自然災害に対する未然防止対策の推進

## 1 目的

ゲリラ豪雨や台風等による災害の未然防止を図るため、平成22年3月に策定した「都市河川重点整備計画(新セイフティリバー)」を着実に推進するとともに、土砂災害防止施設の整備等を進める。

## 2 予算額 13,499,239千円

## 3 事業内容

項名	主な事業内容
浸水被害対策の推進：6,351,429千円	
河川の整備と防災情報の充実	○「都市河川重点整備計画(新セイフティリバー)」に基づく遊水地や護岸の整備等を推進 ・引地川他
	○河川防災情報を充実させるため、浸水想定区域図の見直しや水位観測施設等の整備・更新 ・山王川他
がけ崩れ対策等の推進：7,147,810千円	
急傾斜地崩壊危険区域等の災害防止	○土石流による災害を防止するため、砂防堰堤工等の実施 ・新崎川他
	○地すべりによる災害を防止するため、アンカー工等の実施 ・早雲山他
	○がけ崩れによる災害を防止するため、法面工等の実施 ・栗田2丁目F地区他
	○急傾斜地に係る土砂災害特別警戒区域の指定に向けた調査

## 問合せ先

河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470  
砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

## 河 川 改 修 事 業

区 分	一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕
事業概要	<p>矢上川は、川崎市宮前区菅生地先にその源を發し、川崎市の西部を南下して鶴見川に合流する一級河川です。</p> <p>矢上川の流域は、市街化が著しく、沿川に人家が密集していることなどから、河道整備が困難なため、矢上川及び道路の地下を有効活用したトンネル式の地下調節池の整備を進めています。</p> <p>平成 30 年度は、発進立坑工事等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 川崎市宮前区梶ヶ谷他</p> <p>(2) 事業概要</p> <p>トンネル延長 約 4 km</p> <p>トンネル径 内径 7.9m (外径 8.5m)</p> <p>貯留量 約 19.4 万 m<sup>3</sup></p>
全体事業費	約 350 億円
平成 30 年度 事業内容	立坑工他
事業期間	平成 21 年度～平成 37 年度

事業名	河川改修事業
河川名	一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕
事業箇所	川崎市宮前区梶ヶ谷他

位置図

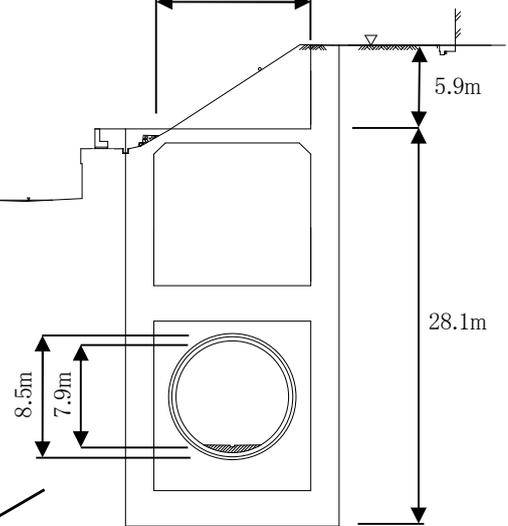


事業箇所

標準横断面図

発進立坑本体工

内空寸法 □11.0m×14.0m



矢上川地下調節池平面図



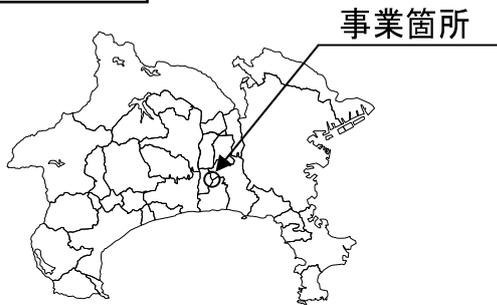
問合せ先  
河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

## 河 川 改 修 事 業

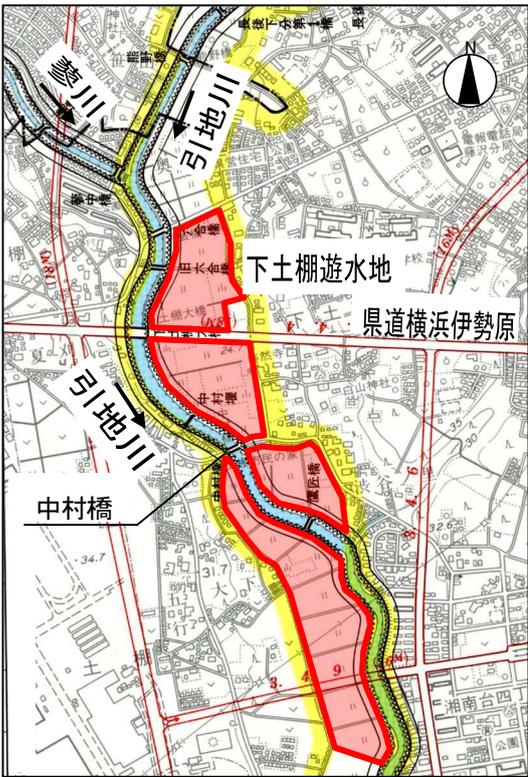
区 分	二級河川 引地川〔下土棚遊水地〕
事業概要	<p>引地川は、大和市上草柳付近にその源を発し、綾瀬市を流れる蓼川と合流し、藤沢市を流下して相模湾に注ぐ二級河川です。</p> <p>引地川の流域では、近年も浸水被害が発生しており、沿川に人家が密集している区間が多いことから、川幅を拡幅する護岸整備とあわせて、洪水時の流量を調節する遊水地の整備を進めています。</p> <p>平成5年度には大庭遊水地の供用を開始し、平成18年度からは、その上流で下土棚遊水地の整備に着手しました。</p> <p>平成30年度は、引き続き遊水地工等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 藤沢市下土棚他</p> <p>(2) 事業概要</p> <p>事業面積 約14ha</p> <p>貯留量 約46万m<sup>3</sup></p>
全体事業費	約250億円
平成30年度 事業内容	遊水地工、護岸工他
事業期間	平成18年度～平成32年度

事業名	河川改修事業
河川名	二級河川 引地川〔下土棚遊水地〕
事業箇所	藤沢市下土棚他

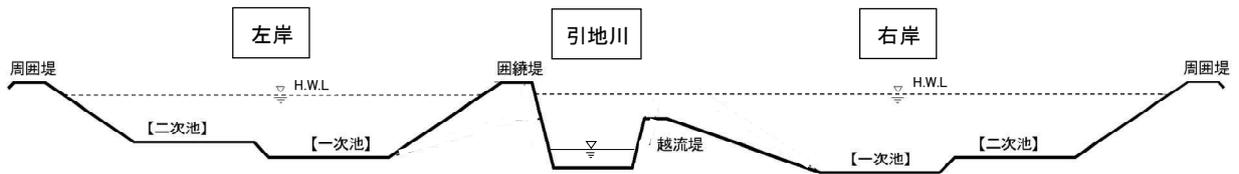
位置図



下土棚遊水地平面図



標準横断面図



問合せ先  
河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

## 都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）の推進

### 1 目的

近年、都市化の進展により流域の保水・遊水機能が減少していることや、局部的、突発的に短時間で多量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が頻発していることから、治水対策の重要性がますます高まっています。

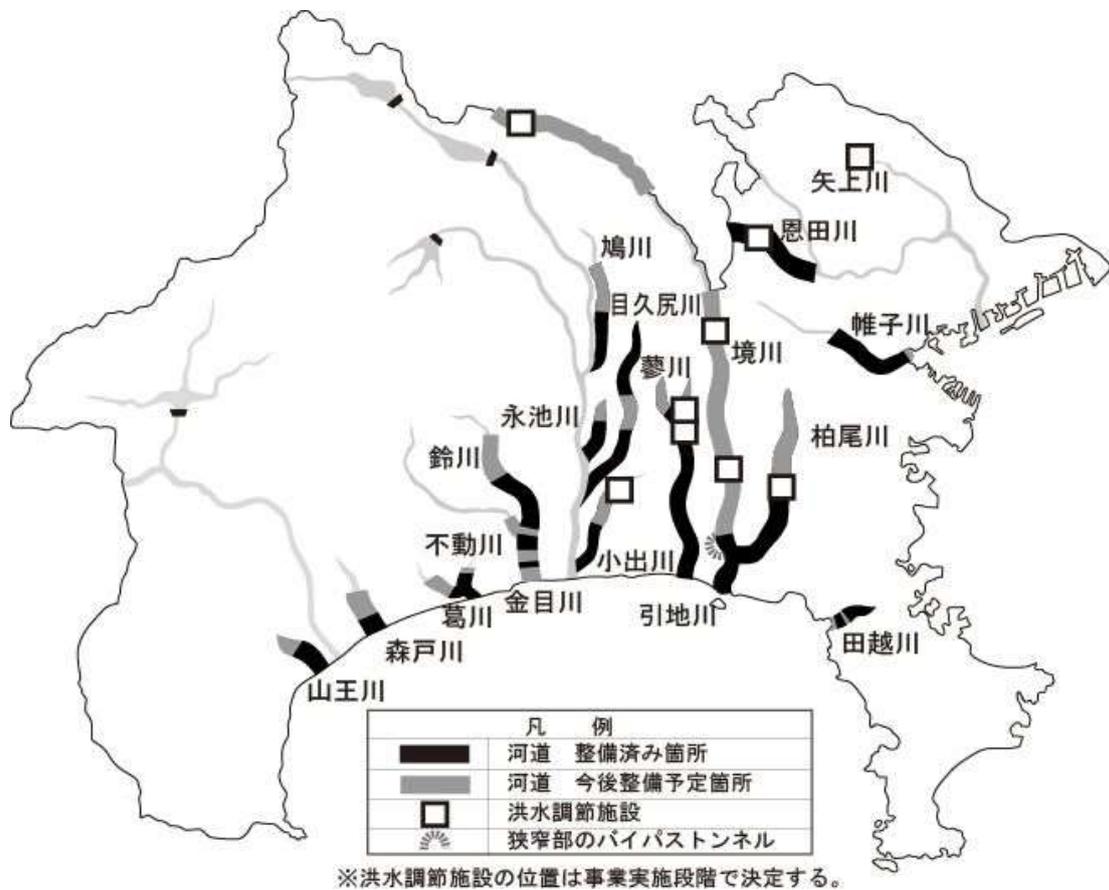
こうした中、県では、厳しい財政状況のもとで、より効率的、効果的な河川整備を進めるため、県内の中小河川のうち、過去の大雨で水害が発生した河川や都市化の進展が著しい地域を流れる 18 河川について、「都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）」に位置づけ、重点的に整備を進めます。

2 平成 30 年度当初予算額 4,655,122 千円

### 3 平成 30 年度事業内容

河川名	主な事業箇所	主な内容
矢上川	川崎市宮前区梶ヶ谷他	立坑工、施設設計委託、環境調査委託
恩田川	横浜市緑区小山町他	調査委託
帷子川	横浜市西区西平沼町他	護岸設計委託
田越川	逗子市逗子二丁目他	護岸工、計画検討委託
境川	横浜市瀬谷区橋戸三丁目他	護岸工、遊水地工、用地取得、計画検討委託
柏尾川	横浜市栄区金井町	用地取得、遊水地設計委託
引地川	藤沢市下土棚他	遊水地工、用地取得、護岸工、計画検討委託
蓼川	藤沢市下土棚他	橋りょう工、計画検討委託
小出川	茅ヶ崎市香川四丁目他	護岸工、橋りょう工、用地取得
目久尻川	藤沢市用田他	護岸工、計画検討委託
永池川	海老名市杉久保他	河床掘削工
鳩川	相模原市南区磯部	護岸工
金目川	平塚市上平塚他	護岸工、計画検討委託
鈴川	平塚市上平塚他	計画検討委託
葛川	二宮町二宮	調査委託
不動川	大磯町生沢他	護岸工、橋りょう設計委託、用地取得
森戸川	小田原市国府津他	調査委託
山王川	小田原市浜町四丁目他	計画検討委託

# 都市河川重点整備計画(新セーフティリバー)の概要



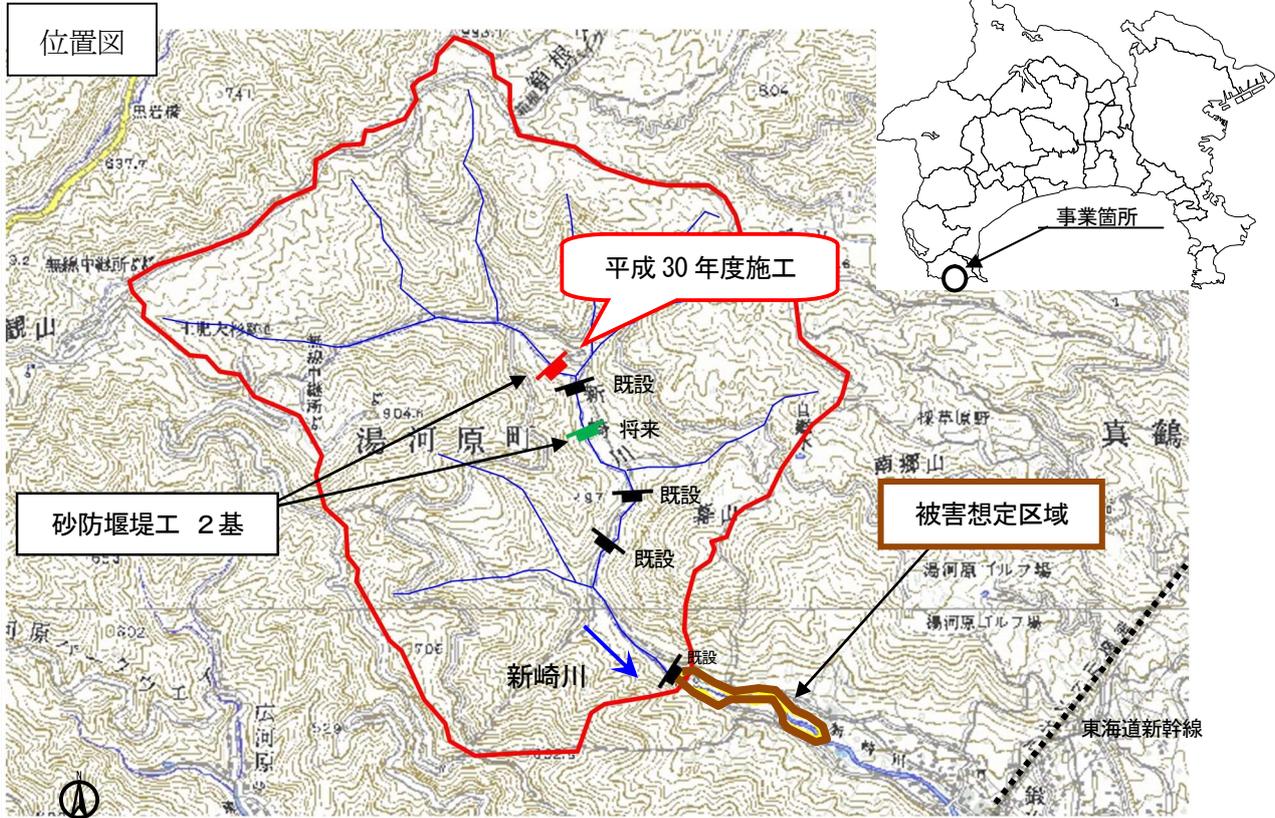
河川名	整備概要 (概ね30年間)	河川名	整備概要 (概ね30年間)
矢上川	洪水調節施設 1箇所	小出川	洪水調節施設 1箇所 河道整備 約2.9km
恩田川	洪水調節施設 1箇所		
帷子川	河道整備 約0.1km	目久尻川	河道整備 約0.3km
田越川	河道整備 約1.0km	永池川	河道整備 約1.6km
境川	洪水調節施設 3箇所 狭窄部のバイパストンネル 河道整備 約31.7km	鳩川	河道整備 約4.4km
		金目川	河道整備 約2.6km
柏尾川	洪水調節施設 数箇所 河道整備 約3.8km	鈴川	河道整備 約3.1km
		葛川	河道整備 約2.0km
引地川	洪水調節施設 2箇所 河道整備 約3.0km	不動川	河道整備 約0.2km
		森戸川	河道整備 約1.1km
蓼川	河道整備 約3.5km	山王川	河道整備 約1.7km
18河川	河道整備 16河川 約63.0km 洪水調節施設 6河川 狭窄部のバイパストンネル 1河川		

問合せ先  
河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

## 砂 防 事 業

区 分	新崎川
事業概要	<p>新崎川は、足柄下郡湯河原町吉浜に位置する、流域面積9.78km<sup>2</sup>の溪流です。</p> <p>当該溪流は急勾配であることに加え、溪流内に大量に堆積する土砂の中に巨石が多いことから、土石流が発生しやすく、その被害は甚大なものになると予想されます。下流の被害想定区域内には人家、町道、幕山公園、幕山浄水場などの重要なインフラ施設が存在していることから、土砂災害を未然に防止するため、砂防堰堤工による対策を実施します。</p> <p>平成30年度は、砂防堰堤工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 足柄下郡湯河原町吉浜  (2) 事業内容 砂防堰堤工 2基</p>
全体事業費	約10億円
平成30年度事業内容	砂防堰堤工 1基
事業期間	平成21年度～平成41年度

事業名	砂防事業
路線名	新崎川
事業箇所	足柄下郡湯河原町吉浜



溪流荒廃状況



保全対象



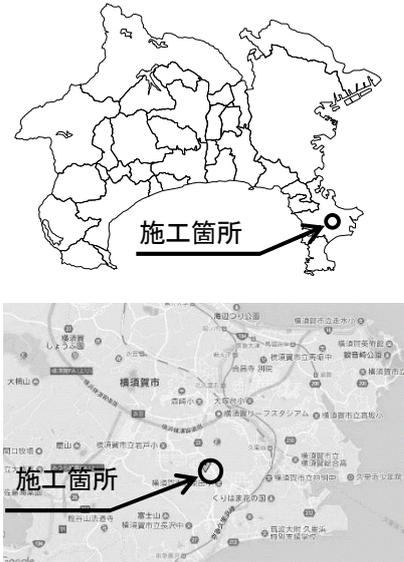
問合せ先  
 砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

## 急傾斜地崩壊対策事業

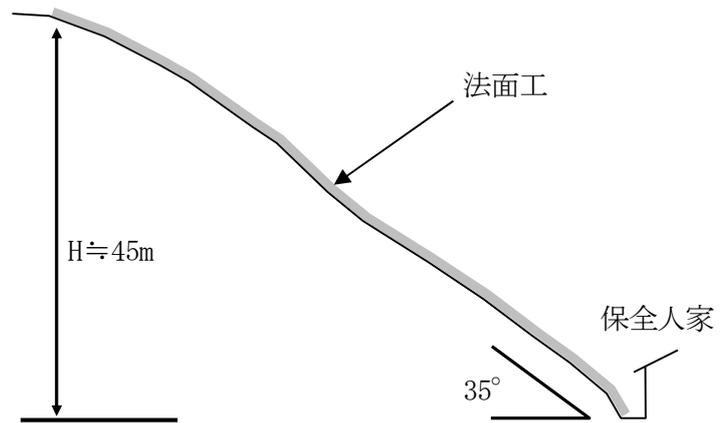
区 分	あわた 栗田 2 丁目 F 地区
事業概要	<p>栗田 2 丁目 F 地区急傾斜地崩壊危険区域は、横須賀市の南部に位置し、斜面の 高さは約 45m、勾配は約 35 度です。区域内には人家が多数立地しています。 がけ崩れ災害から人命を守るため、急傾斜地崩壊防止施設を整備しています。 平成 30 年度は、法面工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 横須賀市栗田二丁目地内 (2) 事業延長 60.0m</p>
全体事業費	約 2.2 億円
平成 30 年度 事業内容	法面工
事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度

事業名	急傾斜地崩壊対策事業
区域名	粟田2丁目F地区
事業箇所	横須賀市粟田二丁目地内

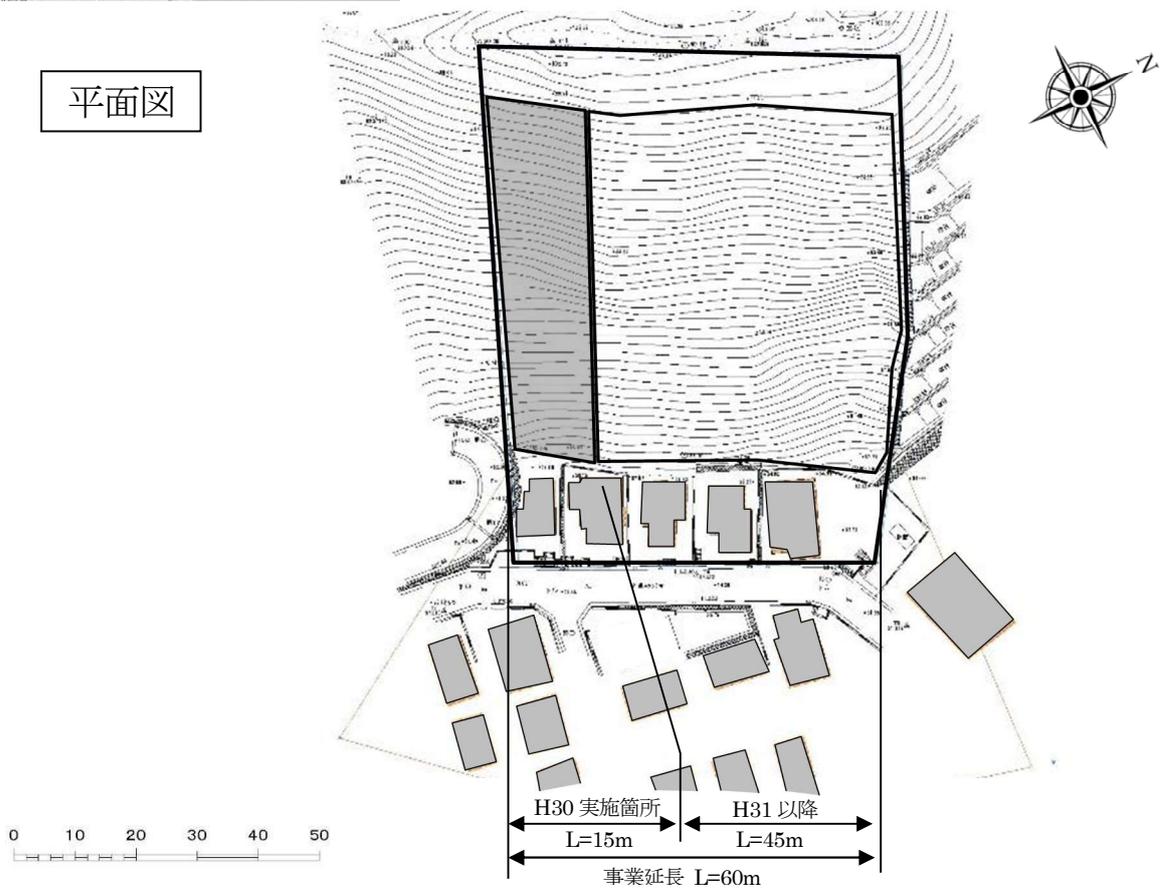
位置図



横断面



平面図



問合せ先  
 砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500



## 緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進

### 1 目的

大規模地震による甚大な人的・物的被害が懸念されるなか、県地域防災計画に位置付けた緊急輸送道路が震災時においてもその機能を確保できるよう、通行障害を引き起こす恐れのある沿道建築物の耐震化を促進する。

広域ネットワーク路線

### 2 予算額

127,328千円

### 3 事業内容

緊急輸送道路のうち、第1次緊急輸送道路(約1,500km)について、耐震診断を義務化する路線とその他の路線に分け、それぞれの沿道建築物の耐震診断・耐震改修に対し補助する。



#### (1) 沿道建築物耐震化補助事業費

5,443千円

##### ア 対象

県域を越えた広域ネットワークを形成する路線のうち、政令市以外の市町村で県が耐震診断を義務付ける沿道建築物について、建物所有者が行う耐震診断・耐震改修に対し補助する。

##### イ 補助率

- 耐震診断 国 1/2、県 1/2、所有者負担なし
- 耐震改修 国 1/5、県 1/6、所有者 19/30

#### (2) 沿道建築物耐震化支援事業費

121,885千円

##### ア 対象

県が耐震診断を義務化する区間を除く第1次緊急輸送道路の沿道建築物について、市町村と連携して建物所有者が行う耐震診断・耐震改修に対し補助する。

##### イ 補助率

(ア) 広域ネットワークを形成する路線で、政令市が耐震診断を義務付ける沿道建築物

- 耐震診断 国 1/2、県 1/6、政令市 1/3、所有者負担なし
- 耐震改修 国 2/5、県 1/9、政令市+所有者 22/45

(イ) その他の路線の沿道建築物 < >内は政令市の場合

- 耐震診断 国 1/3、県 1/6 <1/9>、市町村+所有者 1/2 <5/9>
- 耐震改修 国 1/3、県 1/6 <1/9>、市町村+所有者 1/2 <5/9>

問合せ先

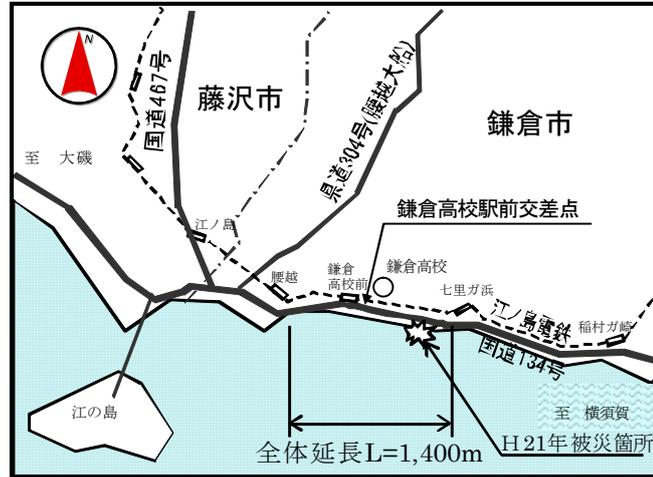
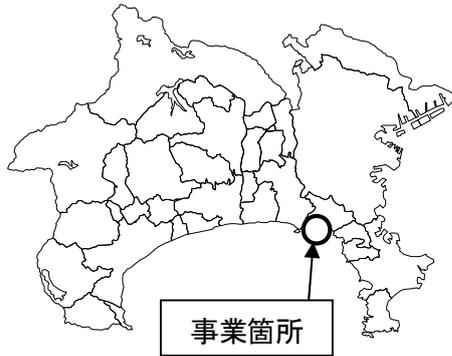
建築安全課 課長 依田 電話 045-210-6250

## 道 路 災 害 防 除 事 業

区 分	国道 134 号
事業概要	<p>国道 134 号は、横須賀市三春町を起点とし、大磯町大磯に至る主要幹線道路で、災害時の緊急輸送道路（1次路線）に指定されています。</p> <p>当該路線における七里ガ浜から腰越までの約 1.4 kmの区間の道路擁壁は、老朽化が著しく進行しており、平成 21 年 10 月に台風が通過した際には、擁壁の一部が崩落しました。</p> <p>このまま放置した場合には、道路本体が大きく崩落し、重大な事故の発生や、長期的な通行止め等のおそれがあるため、擁壁工事を実施し、災害への対応力の強化を図るものです。</p> <p>平成 30 年度は、引き続き擁壁工事を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 鎌倉市七里ガ浜一丁目～腰越一丁目  (2) 事業延長 1,400.0m  (3) 幅員 11.0m</p>
全体事業費	約 55 億円
平成 30 年度 事業内容	擁壁工
事業期間	平成 24 年度～平成 30 年度

事業名	道路災害防除事業
路線名	国道134号
事業箇所	鎌倉市七里ガ浜一丁目～腰越一丁目

位置図



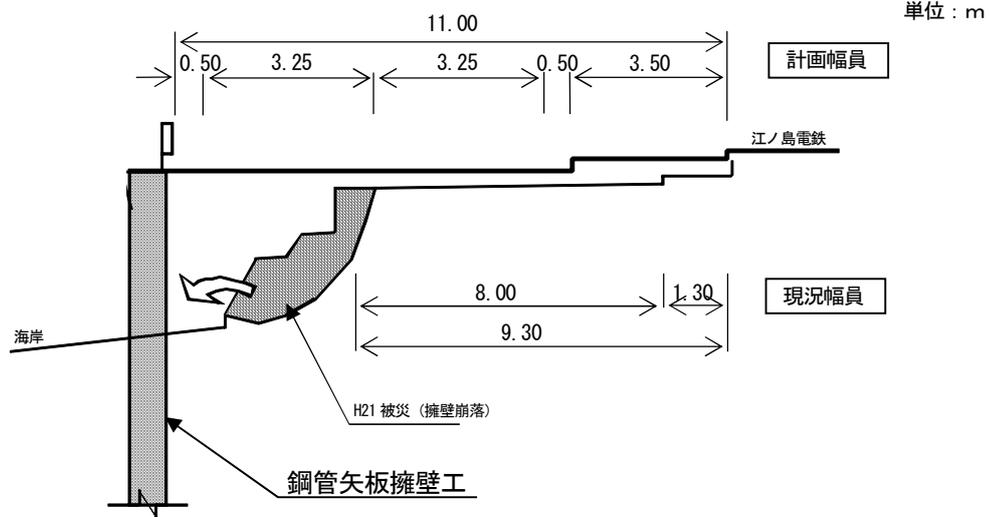
平成21年台風18号による被災状況  
擁壁の崩落



路面陥没



断面図



問合せ先  
道路管理課 課長 西山 電話 045-210-6350

## 橋 り よ う 補 修 事 業

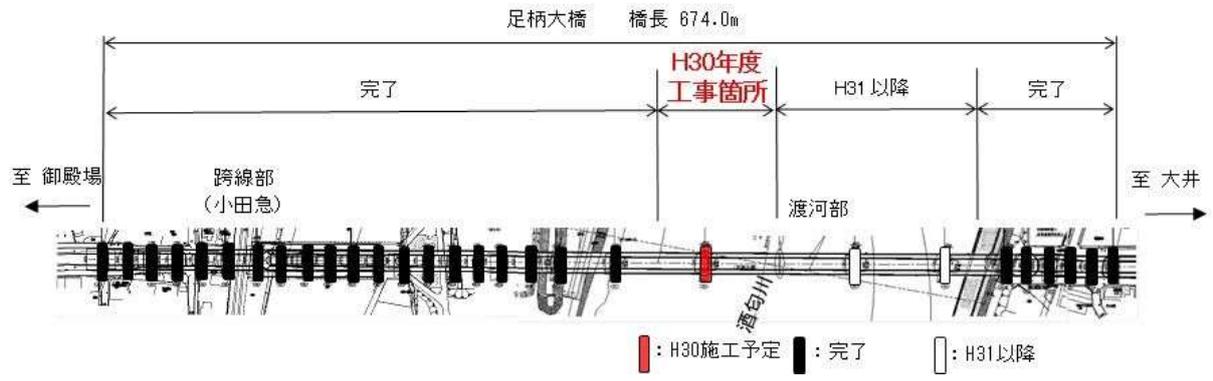
区 分	県道 78 号（御殿場大井）〔足柄大橋〕
事業概要	<p>県道 78 号（御殿場大井）は、南足柄市矢倉沢の県境を起点とし、大井町金子に至る主要幹線道路で、災害時の緊急輸送道路（1次路線）に指定されています。</p> <p>本事業は、二級河川酒匂川を渡河する足柄大橋について、橋脚の耐震補強工事を実施し、地震被害の未然防止を図るものです。</p> <p>平成 30 年度は、引き続き橋脚の耐震補強工事を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 開成町吉田島～大井町金手  (2) 事業延長 674.0m  (3) 幅 員 14.4m</p>
全体事業費	約 13 億円
平成 30 年度 事業内容	耐震補強工
事業期間	平成 24 年度～平成 33 年度

事業名	橋りょう補修事業
路線名	県道78号(御殿場大井) [足柄大橋]
事業箇所	開成町吉田島～大井町金手

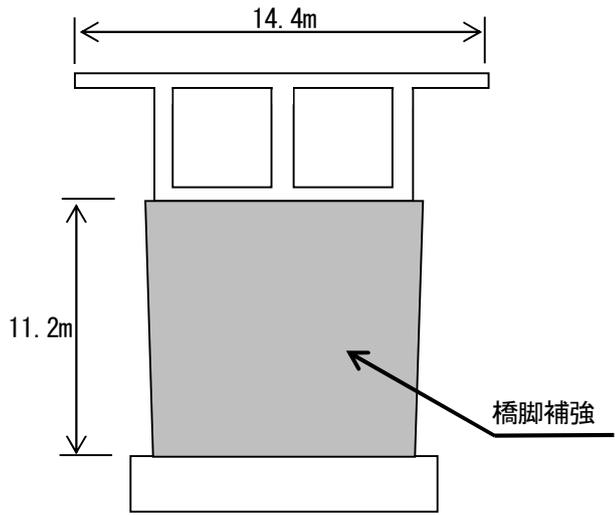
位置図



平面図



断面図



問合せ先  
 道路管理課 課長 西山 電話 045-210-6350

## 都 市 公 園 整 備 事 業

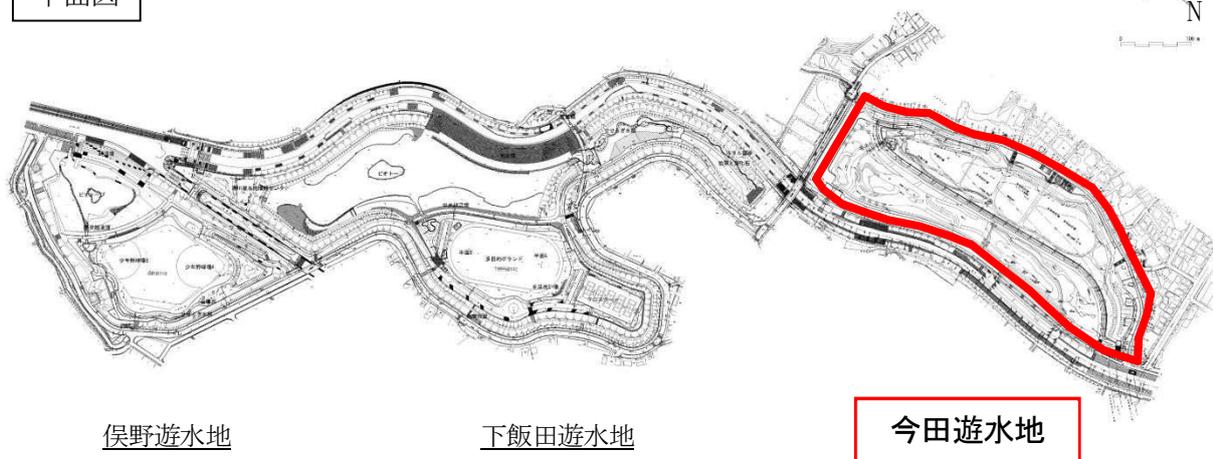
区 分	境川遊水地公園（今田遊水地）
事業概要	<p>境川遊水地公園は、横浜市と藤沢市の市境に位置する境川遊水地の上部空間を有効利用した公園です。平常時は、多目的広場、運動施設、ビオトープとして利用し、洪水時には、川の水を一時的に貯留し、被害を軽減します。</p> <p>平成30年度は、引き続き園路広場の整備を行います。</p> <p>(1) 事業箇所 藤沢市今田  (2) 計画面積 約7.3ha（今田遊水地）  （※境川遊水地公園全体 約26.2ha）</p>
全体事業費	約5億円（今田遊水地）
平成30年度 事業内容	園路広場整備工他
事業期間	平成27年度 ～ 平成31年度

事業名	都市公園整備事業
公園名	境川遊水地公園（今田遊水地）
事業箇所	藤沢市今田

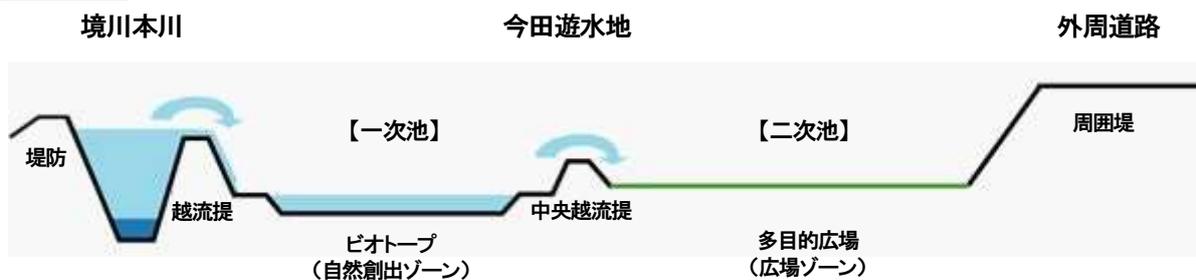
位置図



平面図



断面図



問合せ先  
都市公園課 課長 和田 電話 045-210-6220



## 山・川・海の連続性をとらえた「川づくり・なぎさづくり」

## 基本的な考え方

治水・利水事業により県民生活の向上が図られた一方、ダムや堰等により海岸への土砂供給量が減少したことや、海岸の構造物や地形などの複合的な要因により、海岸侵食が引き起こされている。

そこで、広域的視野に立ち、山等から河川を通じて沿岸を移動する土砂の流れである流砂系の健全化に向けた総合的な土砂管理を進める。

平成30年度は、環境への影響をモニタリングしながら、河川では置き砂、河床掘削などを行う。

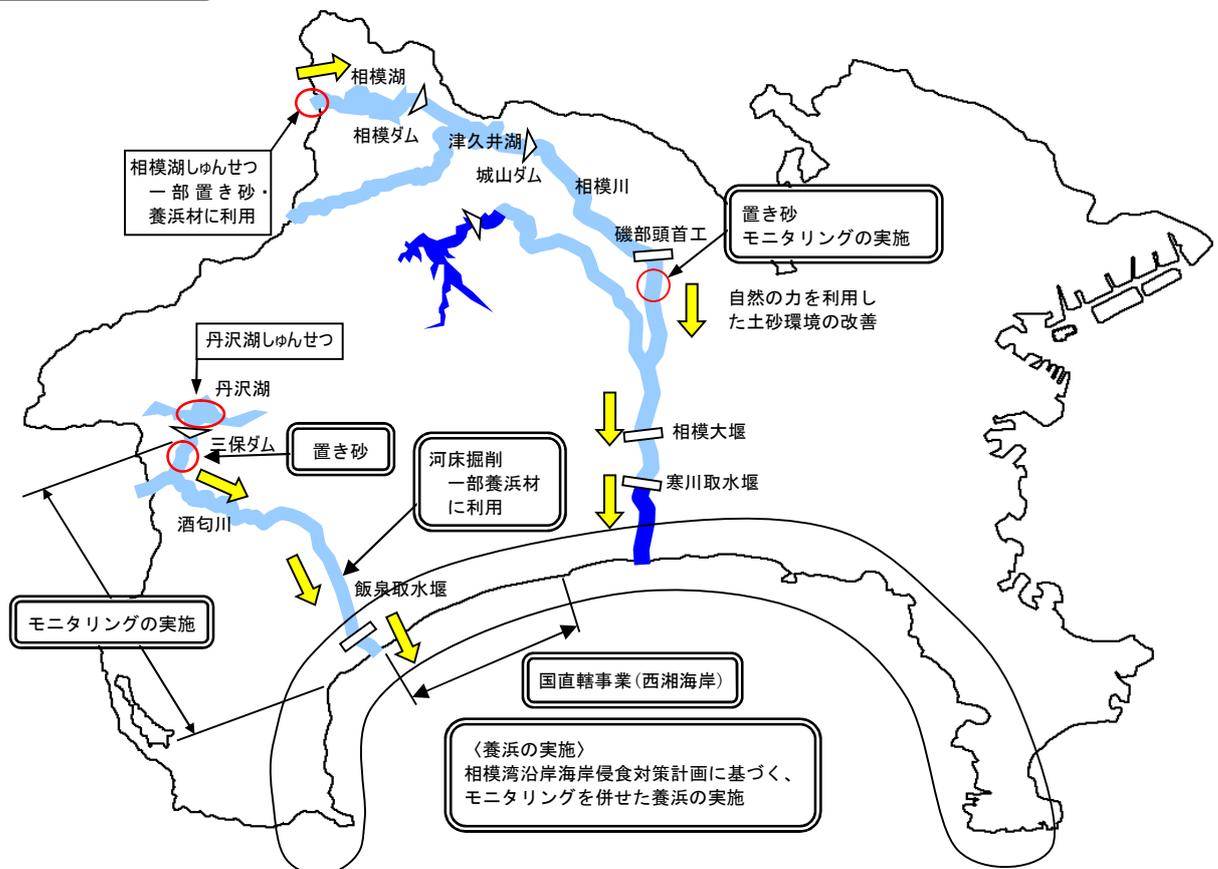
各海岸では、侵食状況等を勘案して実施規模を調整しながら、ダムや河川内の堆積土砂等を利用した養浜を行うなど、海岸侵食対策に取り組む。

## ○事業費内訳

(単位：千円)

事業名	H30予算額		備考
	事業費総額	うち対策分	
海岸高潮対策費	687,427	483,609	養浜を主体とした侵食対策
海岸関係国直轄事業負担金	160,000	160,000	
河川修繕費	川づくり推進費	117,008	河川の総合的な土砂管理
	河川修繕費	2,632,604	
合計	3,597,039	1,024,617	

## 事業内容概要図



## 問合せ先

河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470  
砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

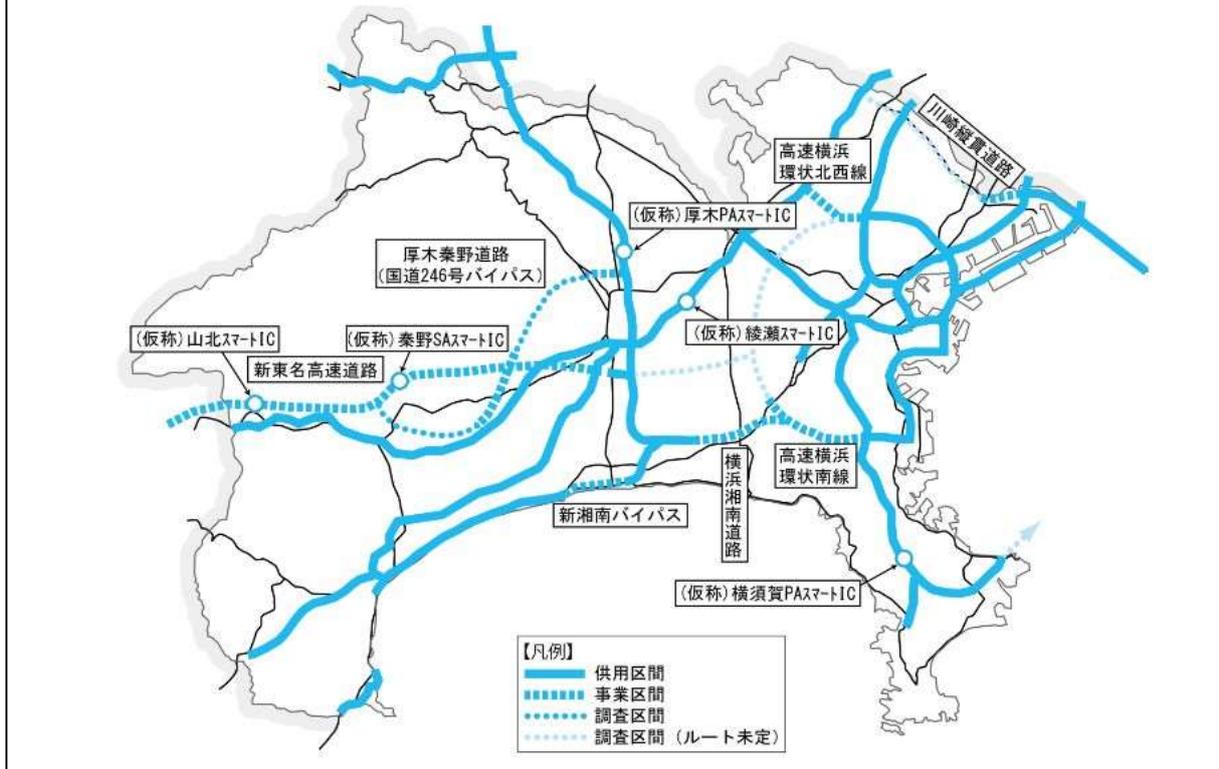
## 「かながわのみちづくり計画」に基づく幹線道路網の重点整備

主要施策	施策内容	主な整備路線
自動車専用道路網の整備	<p>県土構造の骨格となる自動車専用道路網の整備を促進する。</p> <p style="text-align: center;">平成30年度予算額 11,269,167千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜湘南道路</li> <li>・新東名高速道路</li> <li>・高速横浜環状北西線</li> <li>・綾瀬スマートインターチェンジ関連 等</li> </ul>
インターチェンジ接続道路の整備	<p>新たに整備される自動車専用道路のインターチェンジへの円滑なアクセスを確保し、利便性を県内各地域へ広めるため、インターチェンジに接続する道路の整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">平成30年度予算額 1,794,070千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道603号（上粕屋厚木）</li> <li>・（都）横浜藤沢線 等</li> </ul>
交流幹線道路網の整備等	<p>自動車専用道路網を補完して、地域間を連絡する広域的な道路から、県民の日常生活を支える道路に至るまで、多様な交流・連携を支える道路網の体系的な整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">平成30年度予算額 8,318,319千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道26号（横須賀三崎） 〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕</li> <li>・県道611号（大山板戸）</li> <li>・県道731号（矢倉沢仙石原） 〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕</li> <li>・（都）安浦下浦線</li> <li>・（都）曾屋鶴巻線</li> <li>・（都）丸子中山茅ヶ崎線</li> <li>・（都）穴部国府津線他</li> <li>・（都）城山多古線他 等</li> </ul>

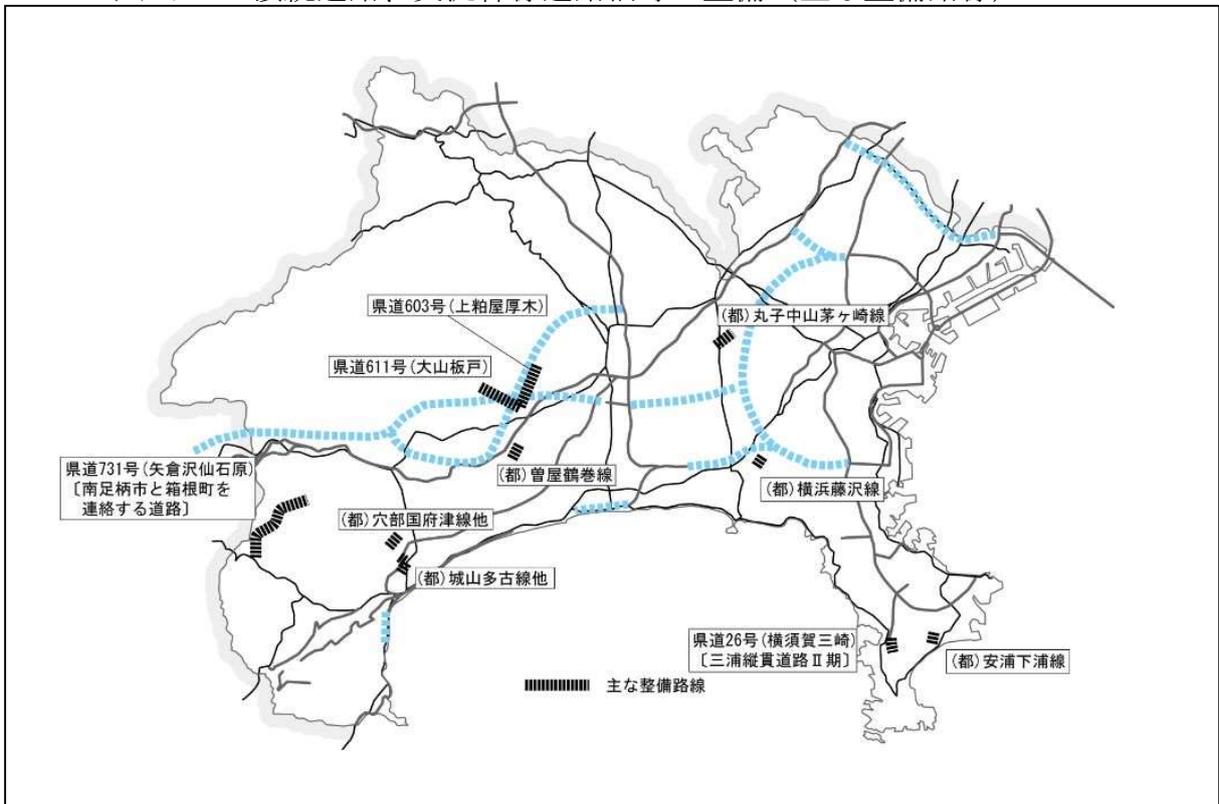
合 計

21,381,556千円

■ 自動車専用道路網の整備



■ インターチェンジ接続道路、交流幹線道路網等の整備（主な整備路線）



問合せ先

道路企画課	課長	笠間	電話045-210-6400
道路整備課	課長	佐藤	電話045-210-6420

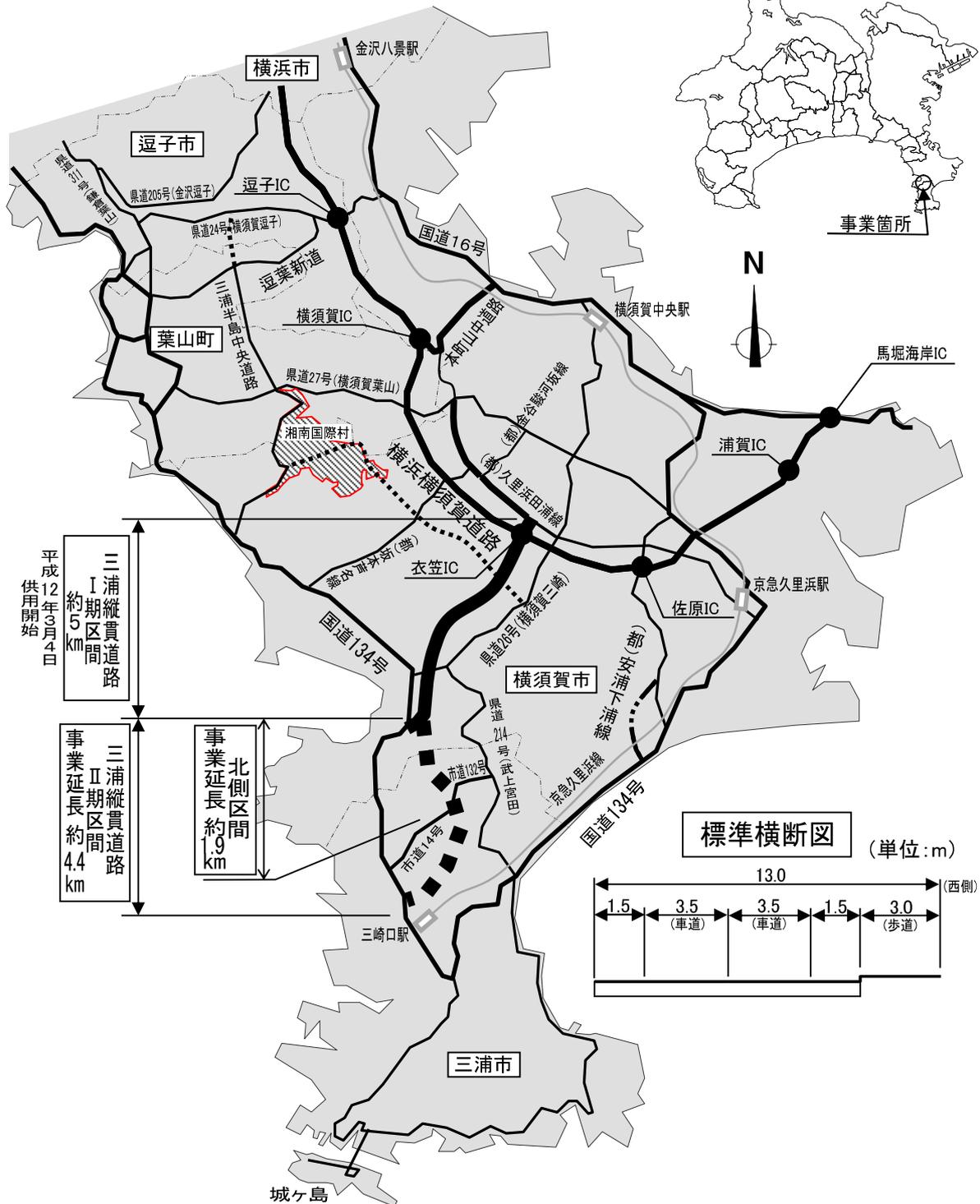
## 道 路 改 良 事 業

区 分	県道 26 号 (横須賀三崎) [三浦縦貫道路Ⅱ期]
事業概要	<p>三浦縦貫道路は、県道 26 号(横須賀三崎)のバイパスとして、横須賀市と三浦市を結ぶ幹線道路であり、横浜横須賀道路と国道 134 号とを連絡し、地域の幹線道路網を強化するものです。本路線の整備により、三浦半島地域の交通利便性の向上と、産業・経済・観光などの各分野における交流・連携機能を強化し、地域の活性化を図ります。</p> <p>I 期区間は、有料道路として平成 12 年 3 月に供用開始しており、Ⅱ期区間については、I 期区間に続く約 1.9 kmを北側区間として平成 16 年度に事業着手しています。</p> <p>平成 30 年度は、改良工及び委託を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 横須賀市林四丁目～三浦市初声町高円坊  (2) 事業延長 約 1.9 km  (3) 幅 員 13.0m</p>
全体事業費	約 105 億円
平成 30 年度 事業内容	改良工 委託
事業期間	平成 16 年度 ～ 平成 31 年度

事業名	道路改良事業
路線名	県道26号(横須賀三崎)〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕
事業箇所	横須賀市林四丁目～三浦市初声町高円坊

平面図

位置図



問合せ先  
 道路整備課 課長 佐藤 電話 045-210-6420

## 道 路 改 良 事 業

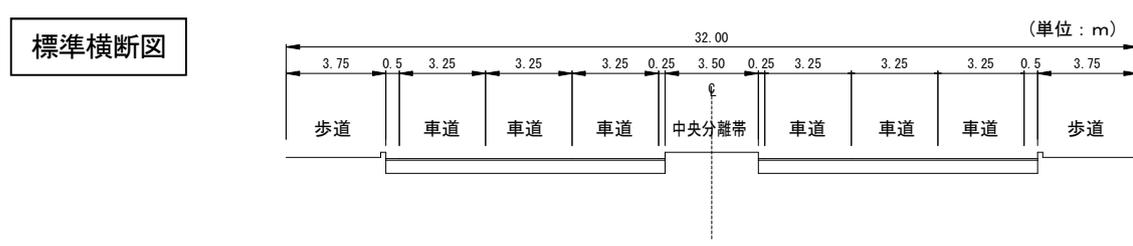
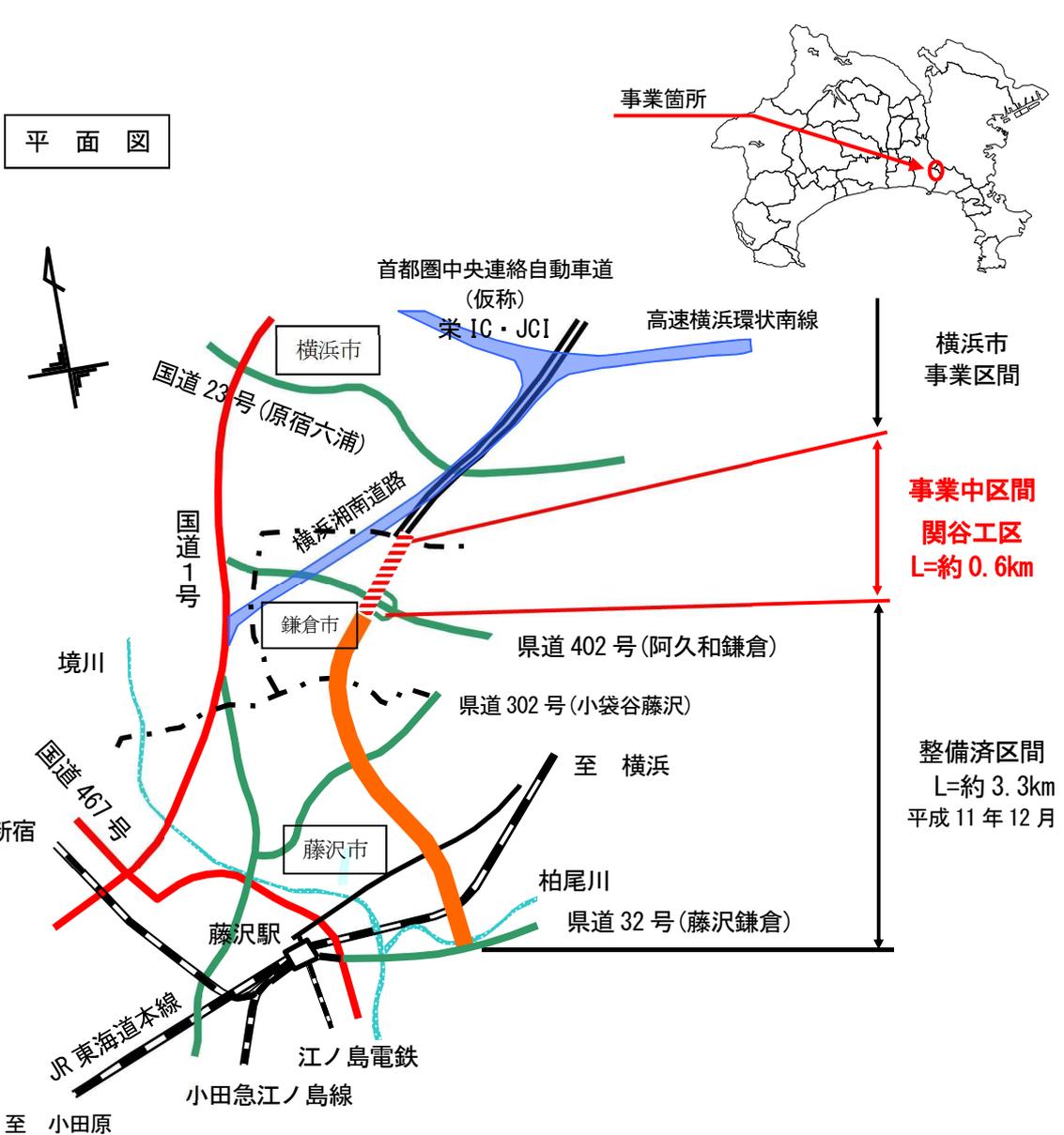
区 分	県道 731 号（矢倉沢仙石原）〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕
事業概要	<p>県道 731 号（矢倉沢仙石原）〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕は、道路ネットワークの充実により、災害時の代替ルートとなるだけでなく、両地域の広域連携が促進され、観光振興を始めとする地域活性化にも役立ち、箱根地域の渋滞緩和を図る重要な道路です。</p> <p>本路線は、国立公園など、自然環境豊かな地域を通過するため、極力地形の改変をせず、既存の林道を活用して、整備を図るものです。</p> <p>平成 30 年度は、改良工及び委託等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 南足柄市矢倉沢～箱根町仙石原</p> <p>(2) 事業延長 約 10.9 km</p>
全体事業費	約 40 億円
平成 30 年度 事業内容	改良工 委託 用地・補償 負担金
事業期間	平成 25 年度 ～ 平成 31 年度



## 街 路 整 備 事 業

区 分	都市計画道路 横浜藤沢線
事業概要	<p>都市計画道路横浜藤沢線は、横浜市域と湘南地域を結ぶ広域的な幹線道路です。</p> <p>現在事業中の横浜湘南道路および高速横浜環状南線の（仮称）栄インターチェンジ・ジャンクションへの接続道路として、横浜市境から県道 402 号（阿久和鎌倉）までの約 0.6km 区間で 6 車線化の整備を進めています。</p> <p>平成 30 年度は、改良工および委託を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 鎌倉市関谷  (2) 事業延長 約 0.6km  (3) 幅 員 32.0m</p>
全体事業費	約 20 億円
平成 30 年度 事業内容	改良工 委託
事業期間	平成 20 年度 ～ 平成 32 年度

事業名	街路整備事業
路線名	都市計画道路 横浜藤沢線
事業箇所	鎌倉市関谷



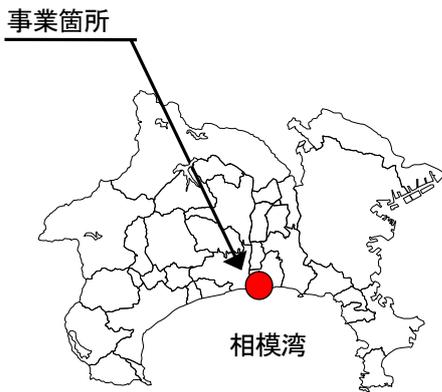
問合せ先  
道路整備課 課長 佐藤 電話 045-210-6420

## 交通安全施設等整備事業

区 分	国道 134 号〔道の駅「(仮称)サザン茅ヶ崎」〕
事業概要	<p>「(仮称)サザン茅ヶ崎」は、新湘南バイパスの茅ヶ崎海岸インターチェンジの直近に位置する、国道 134 号の茅ヶ崎市柳島に、県と茅ヶ崎市が連携して整備する道の駅です。</p> <p>この道の駅には、24 時間無料で利用できる駐車場やトイレ、道路情報や観光情報の提供コーナーのほか、茅ヶ崎市とその周辺地域の特産品の販売スペースなどを設けます。</p> <p>平成 30 年度は、造成工事に着手します。</p> <p>(1) 事業箇所 茅ヶ崎市柳島  (2) 事業規模 約 1.7ha (全体)</p>
全体事業費	約 25 億円 (県事業分 : 約 7 億円、市事業分 : 約 18 億円)
平成 30 年度 事業内容	用地買収、造成工事
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度

事業名	交通安全施設等整備事業
路線名	国道134号〔道の駅「(仮称)サザン茅ヶ崎」〕
事業箇所	茅ヶ崎市柳島

位置図



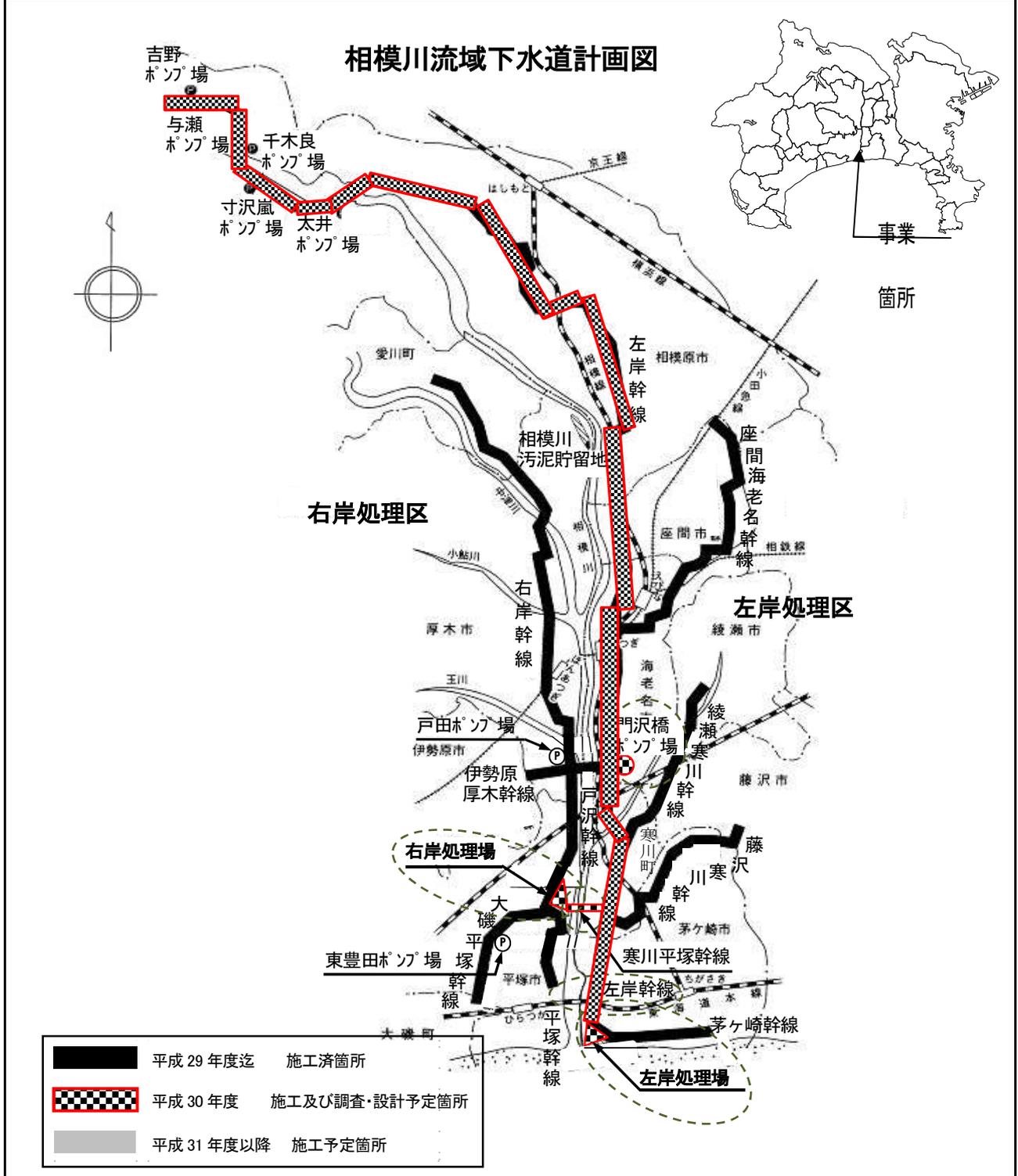
施設配置イメージ



問合せ先  
道路管理課 課長 西山 電話 045-210-6350

区 分	相模川流域下水道
事 業 概 要	<p>相模川流域下水道事業は、昭和 44 年から相模川流域内の 9 市 2 町の区域を対象に事業着手し、昭和 48 年 6 月に右岸処理場（平塚市四之宮）で、また、昭和 52 年 12 月には、左岸処理場（茅ヶ崎市柳島）で、一部の市町について処理開始いたしました。</p> <p>その後区域を拡大し、現在は流域内全 9 市 3 町で事業を実施しています。</p> <p>平成 30 年度は、左岸、右岸の処理場における汚水処理施設の整備等を引き続き推進します。</p> <p>(1) 事業箇所 《左岸処理区》相模原市緑区小淵～茅ヶ崎市柳島 《右岸処理区》愛川町角田～平塚市四之宮</p> <p>(2) 計画概要 処理面積 30,597 ha 処理人口 1,841 千人 処理水量 933 千<math>m^3</math>/日</p>
全体事業費	約 4,900 億円
平成 30 年度 事業内容	汚水処理施設整備工事、調査・設計等
事業期間	昭和 44 年度 ～ 平成 42 年度

事業名	流域下水道事業
流域下水道名	相模川流域下水道
事業箇所	左岸処理区 相模原市緑区小淵～茅ヶ崎市柳島 右岸処理区 愛川町角田～平塚市四之宮

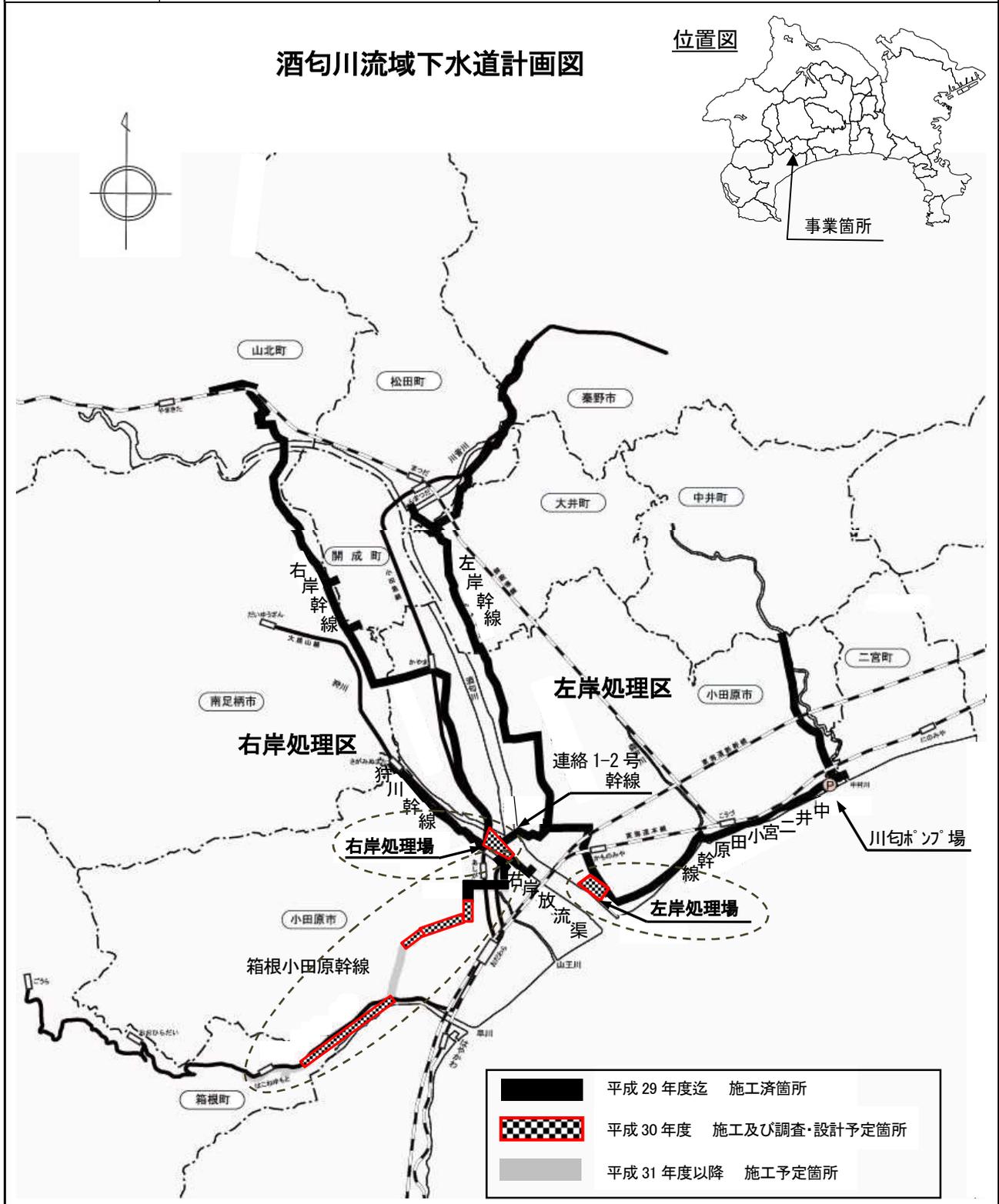


問合せ先  
下水道課 課長 近藤 電話 045-210-6440

## 流域下水道事業

区 分	酒匂川流域下水道
事業概要	<p>酒匂川流域下水道事業は、昭和 48 年から酒匂川流域内の 3 市 4 町の区域を対象に事業着手し、昭和 57 年 12 月に左岸処理場（小田原市西酒匂）で、小田原市の一部を処理開始いたしました。</p> <p>その後区域を拡大し、平成 9 年 7 月から右岸処理場（小田原市扇町）で処理を開始し、現在は流域内全 3 市 7 町で事業を実施しています。</p> <p>平成 30 年度は、箱根小田原幹線と左岸、右岸の処理場における汚水処理施設の整備等を引き続き推進します。</p> <p>(1) 事業箇所 《左岸処理区》 秦野市菖蒲～小田原市西酒匂 《右岸処理区》 山北町山北～小田原市扇町 箱根町湯本～小田原市扇町</p> <p>(2) 計画概要 処理面積 6,689 ha 処理人口 278 千人 処理水量 229 千m<sup>3</sup>/日</p>
全体事業費	約 1,500 億円
平成 30 年度事業内容	幹線整備工事、汚水処理施設整備工事、調査・設計等
事業期間	昭和 48 年度 ～ 平成 42 年度

事業名	流域下水道事業
流域下水道名	酒匂川流域下水道
事業箇所	左岸処理区 秦野市菖蒲～小田原市西酒匂 右岸処理区 山北町山北～小田原市扇町、箱根町湯本～小田原市扇町



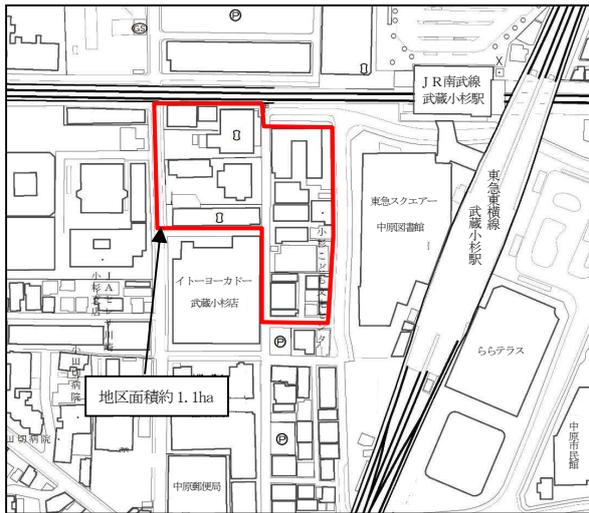
問合せ先  
下水道課 課長 近藤 電話 045-210-6440

## 市 街 地 再 開 発 事 業

区 分	小杉町3丁目東地区
事業概要	<p>小杉町3丁目東地区は、JR南武線武蔵小杉駅及び東急東横線武蔵小杉駅から徒歩数分の立地であり、古くから地域の商業エリアとなっています。</p> <p>しかし、生活道路等の整備の遅れや、老朽化した小規模な住宅等が密集するなど、中心商業地として土地利用や防災上の課題があります。</p> <p>このため、本事業により地区の賑わいを活性化させるとともに、広域拠点としてのまちづくりを進めるため、都市型居住、商業、公共公益施設等の都市機能の更新を図り、魅力とにぎわいにあふれる複合市街地の形成を図るものです。</p> <p>平成30年度は、引き続き共同施設整備を進めます。</p> <p>(1) 施行地区 川崎市中原区小杉町三丁目  (2) 地区面積 約1.1ha  (3) 施 行 者 市街地再開発組合  (4) 施設計画 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造  地上38階/地下2階</p>
全体事業費	約426億円
平成30年度事業内容	共同施設整備
事業期間	平成25年度～平成31年度

事業名	市街地再開発事業
地区名	小杉町3丁目東地区
事業箇所	川崎市中原区小杉町三丁目

平面図



位置図



完成イメージ図



問合せ先  
都市整備課 課長 川崎 電話 045-210-6200

## 公 営 住 宅 整 備 事 業

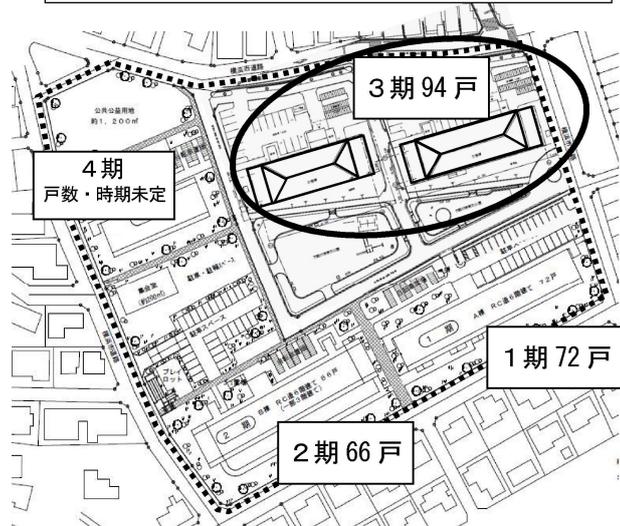
区 分	県営万騎ヶ原団地（3期）
事業概要	<p>公営住宅整備事業は、住宅に困窮する低額所得者、高齢者、身体障害者等に対し、県営住宅を整備（改善）することにより住環境の向上を図るとともに、県民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものです。</p> <p>老朽化した県営住宅の整備については、神奈川県県営住宅ストック総合活用計画に基づき、建替え、個別改善または維持保全などに区分し、適切な整備を進めています。</p> <p>万騎ヶ原団地は昭和33年度から37年度にかけて建設された団地で、神奈川県県営住宅ストック総合活用計画において建替えに区分しており、平成23年度から建替事業を進めています。</p> <p>(1) 事業箇所 横浜市旭区万騎が原39外  (2) 構造階数 鉄筋コンクリート造6階建て  (3) 計画戸数 94戸（50戸（1棟）＋44戸（1棟））</p>
全体事業費	約19.6億円
平成30年度 事業内容	解体工事 建設工事（建築、給排水、電気、昇降機） 工事監理業務
事業期間	平成30年度～平成32年度

事業名	公営住宅整備事業
団地名	県営万騎ヶ原団地
事業箇所	横浜市旭区万騎が原 39 外

位置図



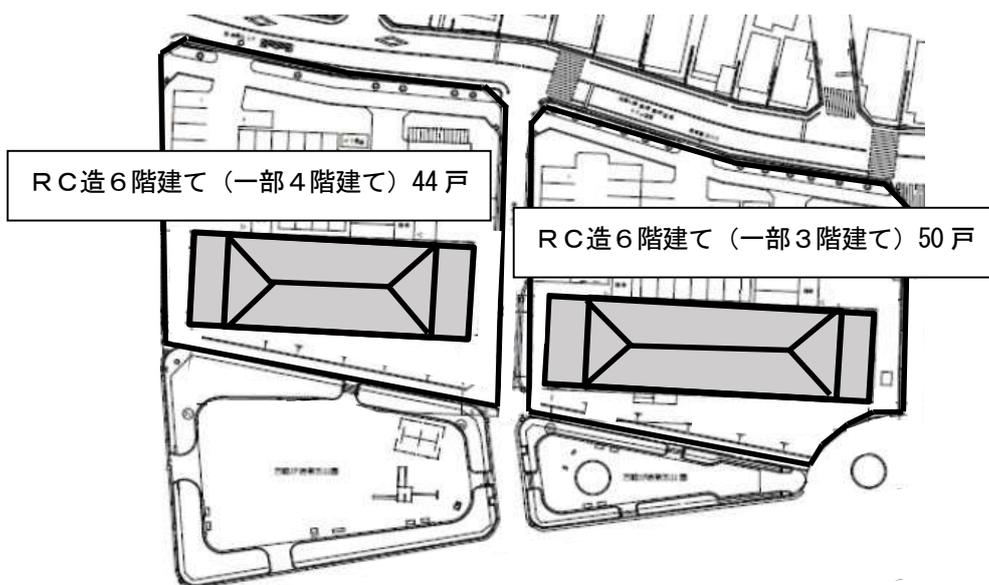
万騎ヶ原団地 土地利用計画図



万騎ヶ原団地 案内図



万騎ヶ原団地（3期）建替え後配置計画図



問合せ先  
 公共住宅課 課長 天野 電話 045-210-6533



## 東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技開催に向けた取組み

### 1 目的

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の円滑な実施を支えるとともに、将来にわたってレガシーとして活用する湘南港の港湾施設等を整備・改修する。

2 予算額 総額 1,177,700 千円

### 3 内容

(1) 港湾改修費（江の島大橋改修工事）

江の島大橋の拡幅整備等を行う。

新 (2) 港湾修築費（湘南港トイレ改修工事設計等）  
江の島島内のトイレ改修に必要な設計等を行う。

新 (3) 港湾補修費（湘南港浮棧橋等補修工事）  
湘南港マリーナ港区の浮棧橋等、既存施設を補修する。

新 (4) セーリングセンター（仮称）整備費  
湘南港内に艇整備庫等を備えた「（仮称）セーリングセンター」を新築する。

### 4 対象箇所



問合せ先

砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

【基本的な考え方】

- 大都市圏に位置している本県には特別な財政需要があることから、本県では法人二税の超過課税を活用し、その時々々の行政課題に迅速かつ的確に対応してきた。  
今後においても、東日本大震災の発生を契機とした新たな「地震防災戦略」を踏まえた対応や、箱根山の火山対策、近年増加しているゲリラ豪雨といった自然災害への対策など、県民の皆様への「いのち」や法人の皆様様の活動を守る取組みを一層強化し、災害に強い県土づくりを推進しなければならない。
- また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の機会を捉え、県内経済のさらなる活性化につなげるため、幹線道路の整備に取り組んでいく必要がある。
- そこで、平成27年11月に5年間延長した超過課税措置を活用し、今後「災害に強い県土づくりの推進」と「東京オリンピック・パラリンピックに向けた幹線道路の整備」に着実に取り組んでいく。

活用項目		平成30年度当初予算額	
		事業費総額	一般財源
I 災害に強い県土づくりの推進	(1) 地震・津波対策の一層の強化 ・ 新たな津波浸水予測や地震被害想定調査に基づき策定する地震防災戦略に沿った減災対策 ・ 県民・企業等への情報伝達機能の強化 ・ 市町村が行う地震防災対策への支援	49億5,437万円 [22億7,154万円]	24億2,229万円 [12億2,660万円]
	(2) 火山・豪雨・台風などの自然災害対策 ・ 箱根山の監視体制の強化、富士山噴火を想定した対策 ・ ゲリラ豪雨や台風等に備えた河川等の整備 ・ 治山・法面や林道の整備	203億2,281万円 [170億7,093万円]	74億5,407万円 [64億9,287万円]
	(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 ・ トンネル、橋などの安全性向上	139億6,253万円 [139億465万円]	48億1,077万円 [48億783万円]
	(4) 災害時に重要な役割を果たす県有施設や、県立学校等の耐震改修 ・ 災害時の避難所や帰宅困難者の一時滞在施設に指定されている県有施設、警察署や県立高校などの耐震改修	110億5,980万円 [4,400万円]	47億1,849万円 [1,100万円]
	小計	502億7,953万円 [332億9,113万円]	193億8,564万円 [125億3,830万円]
II 東京オリンピック・パラリンピックに向けた幹線道路の整備		228億7,323万円 [218億6,155万円]	77億3,977万円 [71億1,808万円]
うち、政令市道路整備臨時補助金(財源は全額超過課税を活用)		4億8,000万円	4億8,000万円
合計		731億5,277万円 [551億5,269万円]	A 271億2,541万円 [196億5,639万円]

※[ ]内は県土整備局予算

B 超過課税活用額	210億3,302万円
超過課税活用率 (超過課税活用額÷一般財源)	B / A 77.5%

<参考> 主な活用事業

○ 災害に強い県土づくりの推進

項目・事業名(県土整備局)	
(1) 地震・津波対策の一層の強化 沿道建築物耐震化支援事業費 電線地中化促進事業費	など
(2) 火山・豪雨・台風などの自然災害対策 河川改修事業費 急傾斜地崩壊対策事業費	など
(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 道路災害防除事業費 橋りょう補修費	など
(4) 県有施設の耐震改修 津久井合同庁舎新築工事費	など

○ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた幹線道路の整備

路線名	箇所(区間)等
新東名高速道路へのアクセス道路 (県道603号(上粕屋厚木) 国道246号[秦野IC関連])	伊勢原北IC
	秦野IC
横浜湘南道路	栄IC・JCT ~ 藤沢IC
綾瀬スマートインターチェンジ 関連	綾瀬市小園
高速横浜環状北西線	横浜青葉IC・JCT ~ 横浜港北JCT・港北出入口
三浦縦貫道路Ⅱ期	横須賀市林四丁目 ~ 三浦市初声町高円坊
南足柄市と箱根町を連絡する道路	南足柄市矢倉沢 ~ 箱根町仙石原

※IC: インターチェンジ, JCT: ジャンクション 名称の一部は仮称。

問合せ先  
県土整備経理課 課長 柏木 電話 045-210-6070

## 平成30年度 主な完成・開所予定・着手箇所

### 1 完成・開所予定箇所

区分	箇所名	工事箇所	着手年度	概要
道路	芦之湯凍雪害対策基地	箱根町芦之湯	平成27年度	(新築) S造2階建て 1棟
道路	県道603号(上粕屋厚木)	伊勢原市上粕屋～西富岡	平成12年度	新東名高速道路(仮称)伊勢原北IC接続道路
港湾	湘南港(臨港道路)	藤沢市片瀬海岸一丁目～江の島一丁目	平成28年度	L=約0.9km 江の島大橋3車線化
港湾	湘南港	藤沢市江の島一丁目	平成29年度	(新築) S造3階建て (仮称)セーリングセンター
市街地整備	東神奈川一丁目地区	横浜市神奈川区東神奈川一丁目	平成25年度	施行面積 約0.2ha
市街地整備	小田急相模原駅前西地区	座間市相模が丘一丁目	平成26年度	施行面積 約0.4ha
公営住宅	緑ヶ丘団地(4期)	厚木市緑ヶ丘三丁目	平成29年度	(建替) RC造4階建て 1棟 40戸

### 2 着手箇所

区分	箇所名	工事箇所	完成予定年度	概要
市街地整備	厚木駅南地区	海老名市河原口他	平成34年度	施行面積 約1.0ha
公営住宅	万騎ヶ原団地(3期)	横浜市旭区万騎が原	平成32年度	(建替) RC造6階建て 2棟 94戸
公営住宅	阿久和団地(3期3工区)	横浜市瀬谷区阿久和南四丁目	平成31年度	(新築) RC造5階建て 1棟 60戸
その他	津久井合同庁舎	相模原市緑区中野	平成31年度	(建替) RC造4階建て 本館

問合せ先  
県土整備経理課 課長 柏木 電話 045-210-6070